

黒坂圭太監督長編アニメーション映画 「緑子/MIDORI-KO」公開記念

黒坂 NIGHT VOL.3

ソナタ第1番 ライブ上映

日本のアートアニメーションの奇才・黒坂圭太監督が10年以上を費やした渾身のアニメーション映画『緑子/MIDORI-KO』の公開を記念して、シリーズで開催している「黒坂 NIGHT」のVOL.3では、1985年に完成以来、ほとんど上映される機会もなく、ファンの中で上映が待ち望まれていた、黒坂圭太・抽象アニメーション映画の最高傑作『ソナタ第1番』を、三木黄太・佐藤研二によるライブ演奏とともに上映します。黒坂の抽象アニメーション映像と、三木・佐藤による旋律がどうせめぎあうか、今回の1回限りのライブ上映は、貴重な夜になること受け合いです。アップリンク・ファクトリーへ集合せよ！

◆上映作品

『変形作品第3番<ミックスジュース>』15分/1985年

『ソナタ第一番』40分/1985年(ライブ上映+演奏)

出演：三木黄太(チェロ) / 佐藤研二(ベース・チェロ)

2011年8月10日(水) 19:30スタート

アップリンク・ファクトリー 料金 2,300円(1ドリンク付)

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 37-18 トツネビル 1F

予約・問い合わせ：tel.03-6825-5502 factory@uplink.co.jp

『緑子/MIDORI-KO』 2011年9月に渋谷アップリンクにてロードショー



三木黄太/Miki Kota：1960年東京生まれ。82年カトゥラ・トゥラーナにチェリストとして参加。1995年に坂本弘道・佐藤研二と共にチェロ三重奏団 CotuCotu を結成。同年からパスカルスに参加。音楽活動と同時にアートファニチャーギャラリーを主宰し独創的な家具の制作を続けている。『緑子/MIDORI-KO』の音楽に参加。



佐藤研二/Sato Kenji：エレキベース・チェロ・アレンジ・サウンドプロデューサー。ロック・ポップスから即興やチェロ三重奏まで、そしてソロ（独奏）アルバムも今年で6枚目になり全国ツアーなど積極的に展開中。『緑子/MIDORI-KO』のエンディングテーマ『麒麟児の世界』の編曲担当。

黒坂圭太 Keita Kurosaka

代表作のMTVステーションID『パパが飛んだ朝』は数々の国際賞に輝き世界中で放映された。Dir en greyのPV『Agitated Screams of Maggots』（2006）は、あまりの背徳的過激さから賛否両論を巻き起こしTVやDVDでは修正を余儀なくされた。即興アニメーションとペインティングによるライブ・パフォーマンスも行っている。10年以上の歳月をかけた初の長編アニメーション映画『緑子/MIDORI-KO』が、2010年9月渋谷アップリンクでのロードショーを皮切りに、全国順次公開される。

ソナタ第1番（1985年） 黒坂圭太監督作品（オリジナル8mmフィルム）

四つの章から成る。第一章は主題の発生と成長。暗闇から、ざわめく小石の波が湧き起こり、呼吸するかの様に次第に力を増していく。そこに、さまざまな染み状のフォルムが激しく交錯し、エネルギーの頂点を築く。第二章は縦横にカットされたメカニク的なイメージの断片のせめぎ合い。第三章で初めて緩徐な調べが訪れる。無数の小石が静まり返った海を形成し、それは後半で色彩的になっていく。第四章は、先行する主要素材を回想する様に開始される。ここでは閃光を伴った爆発的な動きがメインとなり、具象的なイメージの断片も加わって、シンフォニックなグランド・フィナーレを形成する。